

「海をきれいに、安全に、秩序正しく」
海上保安友の会札幌支部
会 報 (第29号) (抜粋編)

平成28年9月23日発行



日ロ合同訓練参加 (巡視船つがる ロシア警備艇 026 28年6月1日 撮影)
【掲載内容】 日ロ合同訓練ロシア警備艇・巡視船つがる一般公開
巡視船えりも・ほろべつ潜水訓練
測量船昭洋一般公開
うしお祭りねりこみに参加して
巡視船しれとこ体験航海
MPS 開所式 ほろべつ体験航海
クリーンアップ石狩新港浜に参加して
平成28年度理事会報告



海上保安友の会札幌支部事務局

〒047-0007

小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

小樽海上保安部 管理課 内

電話 0134-27-6118 FAX0134-23-9700

会員数219名(正会員 99名、家族会員 120名)(H28.8.1現在)

日露合同訓練、ロシア警備艇・巡視船つがる一般公開

平成28年6月2日に実施しました。



ロシア警備艇の前で記念撮影



巡視船えりも・ほろべつ合同潜水訓練見学

理事 中源 一博

晴天に恵まれた、6月28日小樽港巡視船係留岸壁周辺で潜水訓練が行われました。

釧路海上保安部所属巡視船えりも・小樽海上保安部所属ほろべつ潜水士が、海上保安友の会札幌支部見学者が見守る中、日頃から努力し鍛えた体力・技術を駆使して訓練が行われましたが、海上からロープを使用してえりも甲板上に腕の力・技術を駆使して上ることができない若手潜水士もいて、先輩潜水士から厳しく気合をいれられる場面もあり、一つ一つの訓練が人の命・仲間の命を守る厳しい訓練であることを目の当たりにし心を打たれました。

また、小樽海上保安部 中原救難係長(元潜水士)から、潜水資機材の説明があり、友の会見学者への装着、質問に丁寧に答えていただきました。

最後の500メートル水泳競技では、一管区現役最高齢金沢潜水士が優勝しました。



中原救難係長による資材説明

金澤潜水土と記念撮影



測量船「昭洋」一般公開

平成28年7月9日に実施しました、19人の会員が参加されました。



総トン数 3,128トン
全長 98m
最大幅 15.2m
航続距離12,000海里
小笠原西之島に派遣され調査に従事

昭洋船上で「うみまる」と記念撮影



小樽うしお祭り参加して

理事 高橋 成香

潮まつりのねりこみに参加しませんか？と、お声かけいただきました。

「118」にちなんで参加目標を118人という事で、友の会の会員にも参加してもらおうと今年初めて声かけしたそうです。

「参加します！」と即答できず数日間悩んだ末参加させていただくことになりました。

迷った理由は「ねりこみ自体を見たことがない」「体力に自信がない」「踊りも自信がない」ということからです。

でも、一度くらいは参加してみようかなという興味が勝りました。

踊りを知らない・・・さあどうしよう。

という事でインターネットの動画サイトから探し出しそれを使ってとりあえず予習しました。

当日午前中に庁舎の横で30分練習ありましたがなかなかうまくできず、結局あやふやのまま本番を待ちました。

さて、本番ですが次々と参加団体がスタートして「小樽海保うしお会」もスタートとなりました。

今回、気温は高かったものの炎天下という気候にはならなかったのが幸いでした。

「前の人を見て踊ればいい」とのことで、
前の方のまねをして踊り進んでいきましたがどうにも慣れません。
それでも勢いでゴールまでたどり着きました。
上手くできなくても楽しく充実感を得られたのはとても良かったです。
一緒に参加した娘は小さい頃に盆踊りに参加した経験しかなく、
ほとんど未知の世界だったので新鮮な経験だったようです。
私も娘も楽しかったので、また機会があったら参加させていただこうと思っています。



出発前の記念撮影

本部長室見学会



「しれとこ」体験航海に乗船して

海上保安友の会道南支部 理事・監事・事務局長

田 嶋 孝 利



色内埠頭に着岸直前の「しれとこ」

7月16・17日は小樽海上保安部の巡視船「しれとこ」体験航海があるので16日早朝、車で函館を出発した。道南支部(函館)の体験航海は巡視船「つがる」がフィリピン方面派遣などで多忙を極め夏期は出来ないとのこと

で小樽への参加と決めた。参加するにあたっては札幌支部の徳梅会長をはじめ役員の方々のご尽力があったことは言うまでもない。

今回の体験航海、16日は友の会会員ほか海洋少年団向け、17日は午前・午後とも一般市民各100名の乗船で、事前に募集し乗船券を送付してある方



の乗船である。そこで今回札幌支部では乗船する「しれとこ」をはじめ道内の巡視船艇・航空機の写真を額に入れ展示することにした。「しれとこ」の士官公室をお借りしての展示だったがなかなかお客さんが公室の中まで入ってこないというのと、一回の乗船者が100名以下では、ミニ観で一回

に1000名近く乗船するヘリ巡での展示と違いなかなか見学者が少ないというのが現状ではあったが、友の会のPR活動としてはマスコミや一般市民に対して徳梅会長など役員の方々活躍により大いに結果を残したのではないだろうか。

一方、航海については両日ともに晴れとはいかないまでもまずまずの天候と海象状況で港外に出ても快適であった。実は昨年10月にも「しれとこ」体験航海に乗船、その時は港外の海象もパツとしなかったこともあり、変針時など揺れ



に揺れて乗員からは「本船は揺れるのが特徴の一つ」と言われ船酔い寸前で「もう「しれとこ」には二度と乗らない」と思ったのも懐かしい思い出である。また16日は出港前小樽海洋少年団の手旗信号の訓練披露、出港してからは巡視艇「やぐるま」が後方につけ何度か「しれとこ」の両舷で高速航行のパフォーマンスを見せてくれた。17日は巡視艇が「すずかぜ」に変わり更に千歳航空基地からボンバル機MA723「おおわし1号」が飛来し低空飛行を行い救難訓練にも参加し乗船者を大いに喜ばせた。

来年からは是非7月に本部の総合訓練（ミニ観）を復活させ、友の会向けの体験航海は秋口に新しい巡視船「えさん」で実施できることを望んでいる。



徳梅会長はマスコミの取材対応で大忙し



17日午前の部 海猿との記念撮影



石狩新港M P S（マリンパトロールステーション） 開所式・及び合同パトロール(H28.7.22)

長谷山 豊

今年は、近年になくイベントが多彩で色内ふ頭での「えりも&ほるべつ」潜水士の合同訓練から始まり「しれとこ」の体験航海、石狩湾新港のM P S 開所式&海浜パトロールという参加させていただきました。

特に新港から乗るのは久しぶりで沖合いでの、函館基地S-76Dヘリによる迅速な吊り上げ訓練等いつもとは違う風景でみる事ができました。

このような訓練の見学に参加できるようご尽力頂いた保安部と友の会役員の方々に感謝申し上げます。



開所式



巡視船ほるべつ



小樽部長訓示(背景しれとこ)



辞令交付



しれとこ



ほろべつゴムボート、水上オートバイ合同パトロール



千歳航空機ビーチ



S - 7 6 D 吊り上げ訓練



やぐるまと航空機

「クリーンアップ石狩新港浜」に参加して

見越 芳男

過日の清掃ご苦労様でした、9月4日石狩新港の海浜清掃に参加いたしました。

当日は、清掃作業に絶好の日和で、夏の海水浴シーズンも終わりあちら此方に散見される汚れた石狩浜の清掃をしました、小型トラック数台分のごみに参加者のみな様も驚くほどの大量に収集され大変綺麗な浜に戻り主催団体、第一管区小樽海上保安部、小樽海上保安部、友の会関係者も喜びました、終了後には千歳航空基地の「おおわし」もパトロールの途中低空で飛来し激励していただき千人を超える参加者が一斉に手を振り感激、参加者の励みになりました。主催者発表では、参加者は千人程度、今回で38回をかぞえ今年は環境大臣から表彰を受けたとのこと「クリーンアップ石狩新港浜」主催者の皆様、海上保安の皆様準備お疲れ様でした。

浜を汚さないで海水浴を楽しんでもらいたいと思い浜を後にしました。





千歳航空基地 MA723



激励に参加者が手を振っています。



友の会参加と海上保安ボランティアの皆様方と記念撮影